

令和元年度 新エネ大賞（先進的ビジネスモデル部門）受賞者が決定！

- 令和元年度の新エネ大賞が決定致しました。分散エネルギーシステム関連では、本年度から新設された「先進的ビジネスモデル部門」から、4案件が受賞されました。



経済産業大臣賞

宮古島における「再エネサービスプロバイダ事業」の推進

株式会社宮古島未来エネルギー、宮古島市、株式会社ネクstemズ、三菱UFJリース株式会社

【太陽光発電設備】



宮古島市内の市営住宅40棟に太陽光発電設備(1,217kW)及びエコキュート(120台)を無償で設置し、電力をエコキュート及び市営住宅の共用部へ自家消費売電し、またエコキュートによる温水熱販売をおこなっている。

さらに、エコキュートの稼働を最適制御するなど複合的なエネルギーサービスを行っている。また、今後は更に対象分野を広げて導入を計画している。

沖縄など全国各地の離島への先進的ビジネスモデルの展開が期待できるものとして高く評価された。

【エコキュート】



新エネルギー財団会長賞

大和ハウスの“RE100”への挑戦 - 自らの再エネ100% & 再エネ100%の街づくり - 大和ハウス工業株式会社

同社が発電事業者として係わる再エネ発電設備の容量は、太陽光発電と風力発電を主体に、2019年3月末現在、298MW(217ヶ所)に達している。2030年までには、グループの総電力使用量を上回る再エネ電力の供給実現を目指している。また、同社が販売した戸建オーナーに対し、FIT制度終了後の太陽光発電電力の買取を発表しており、買取対価をポイント還元し、リフォーム工事などへの優遇を行うなどの取組みも計画している。

イオンの「再エネ100%」の達成に向けた挑戦 イオン株式会社

大手小売業初のPPAモデル(需要家が電力事業者に屋根などのスペースを提供し、電力事業者が太陽光発電システムなどの発電設備の無償設置と運用・保守を行い、発電電力は需要家に売電する)を電力需要家として導入し、イオンタウン湖南で1.2MWの太陽光発電を本年内に稼働の予定であり、数年内に200店舗で導入の予定である。

また、FIT終了世帯からイオンの店舗へ提供した余剰電力の量に応じてWAONポイントを進呈するサービスを電力会社と協力して実施している。

RE100への加盟および事業所での自家消費型太陽光発電設備導入の推進 ソニー株式会社

熊本県の半導体工場(1,240MWh/年)やタイの製造工場(2,580MWh/年)にメガソーラーを設置し、発電した電力は全量自家消費している。

また、新たな取組みとして、日本国内の物流倉庫の広い屋根面に太陽光発電設備を設置し、発電した電力は可能な限り自家消費を行い、自家消費しきれない余剰電力は、「自己託送制度」を活用し、電力会社の送電システムを通して別の工場へ託送する予定であり、電力会社との基本契約を締結したところである。

新エネ大賞WEBサイト: <https://www.nef.or.jp/award/kako/r01/index.html>